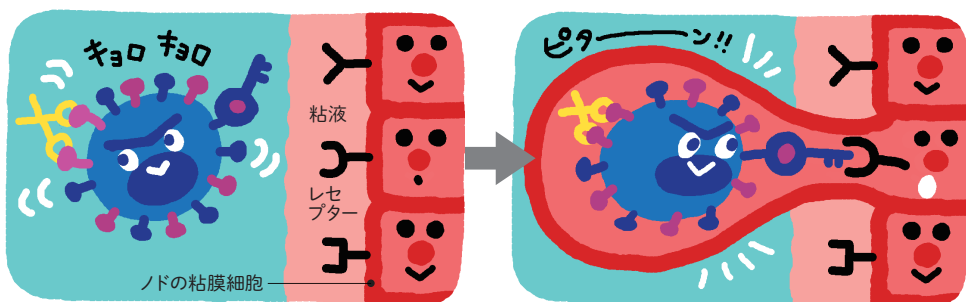


歯周病菌の毒素が ウイルス感染を後押し?!

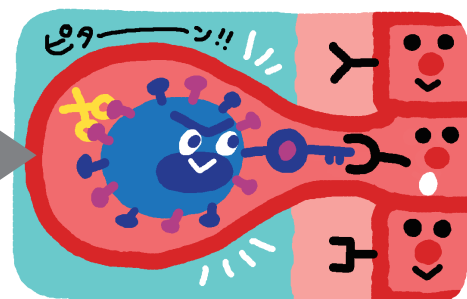
最近の研究では、お口のなかの歯周病菌の出す毒素がウイルス感染の手引きをするうえ、ウイルスのパワーを強めてしまうことがわかっています。

[ウイルスはどうやって体内に入り込む?]

新型コロナウイルスの詳細はまだ明らかではありません。しかし、インフルエンザウイルスと同じく、エンベロープ（被膜）をもつタイプであるため、その感染の仕方についてはほぼ同様だと考えて間違いないでしょう。

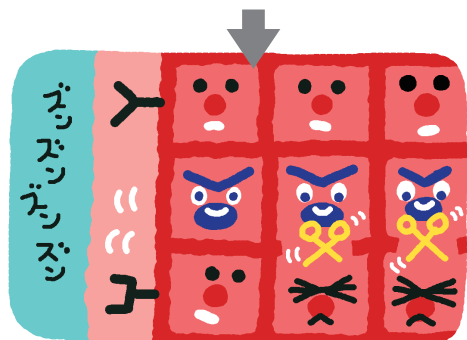


口に入ったウイルスが、粘液におおわれた粘膜細胞のレセプター（受容体）を探します。



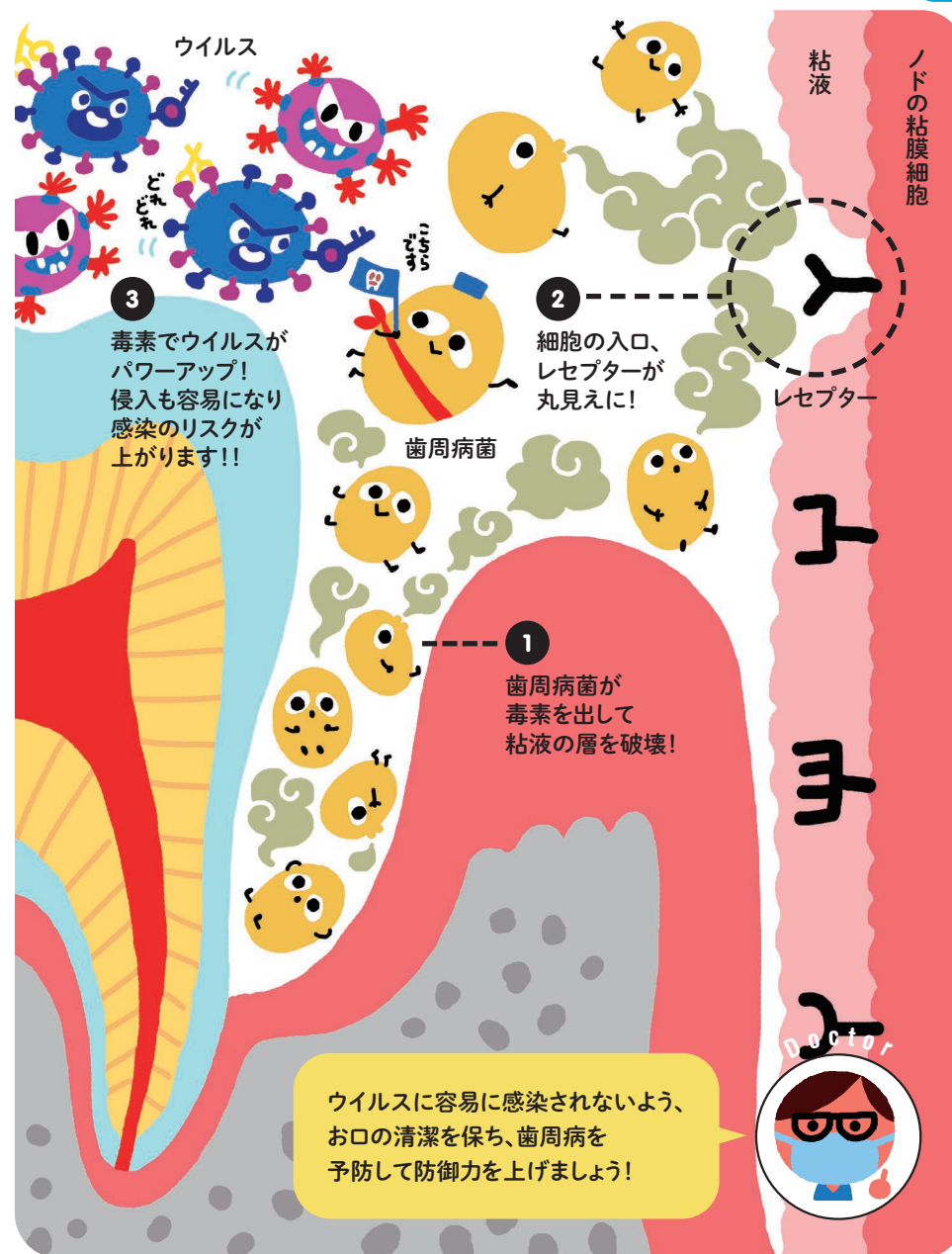
レセプターを見つけるとくっつき、細胞の扉の鍵を開けて一体化し、スルリと内部へ。

粘膜細胞への侵入口であるレセプターは粘液におおわれ隠れています。しかし歯周病菌の毒素が粘液を破壊するとレセプターがむき出しになり、ウイルスは容易に細胞に侵入してしまうのです。



つぎつぎと細胞を乗っ取り、その栄養を使って増殖していきます。

[歯周病菌がウイルスを手引きする!]



監修：東京歯科大学名誉教授／日本歯周病学会名誉会員／日本細菌学会名誉会員 奥田克爾

感染拡大を防ぐために。歯科からのお願いです!

ふだんから歯周病を予防しておくとうイルス感染のリスクが下がります。油断せず第2波、第3波に備えましょう!

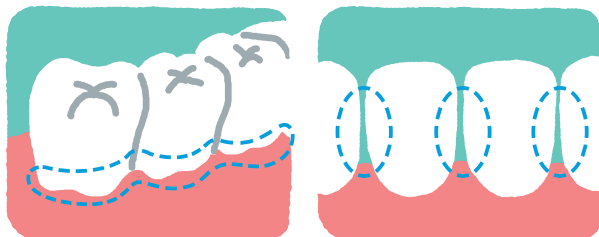


今日からさっそく
はじめましょう!

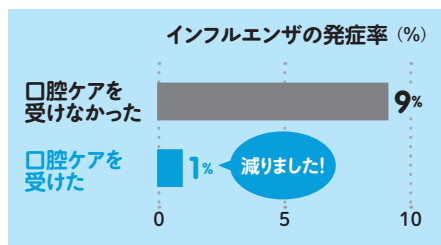


歯みがきはていねいに!

点線で示した歯と歯ぐきの境目に歯ブラシの毛先を当て、ていねいに歯みがきを。また歯間のお掃除にはフロスや歯間ブラシを使いましょう。ふだんから歯科で歯石除去や歯みがき指導を受け、定期的にメンテナンスにも通って歯周病を予防していきましょう!



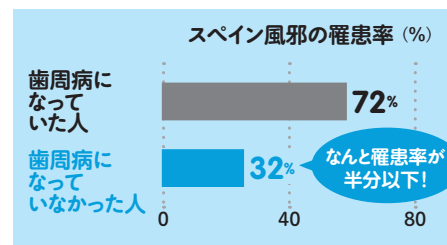
歯周病を予防するとウイルス感染が減る?



歯科衛生士による口腔ケアを継続的に受けた要介護のかた(98人、うち36%が予防接種済み)と、口腔ケアを受けなかった要介護のかた(92人、うち39%が予防接種済み)の、インフルエンザの発症率(%)をくらべました。

Abe S, Ishikawa K, Adachi M, Sasaki H, Okuda K. Professional oral care reduces influenza infection in elderly. Arch Gerontol Geriatr 2006; 43:157-164.

歯周病だとウイルス感染しやすい?



スペイン風邪(H1N1型インフルエンザ)のパンデミック下のアメリカ人とイギリス人260人について、歯周病の有無とスペイン風邪の罹患率(%)を調べました。

ウェストン・プライス『DENTAL INFECTIONS, Oral and Systemic』より

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため 歯科医院では以下のような対策を行っています。

- 1 検温、体調についての問診にご協力ください。
- 2 3密を避けるため予約枠を調整中です。

検温や、感染症に関連する問診をさせていただいております。発熱、せき、強いだるさ、息苦しさなどの症状のあるかたは受診をお控えください。

ユニットなどの念入りの消毒と換気を徹底するために、予約の間隔を空ける調整をさせていただいております。待合室の3密を避けるため必ずご予約ください。

- 3 急を要さない治療やケアについて。

感染の拡大状況によっては、急を要さない治療や定期検診、クリーニングなどについて、延期をお願いさせていただくことがあります。

- 4 手指の消毒とマスク、ガラガラうがいを。

来院時には手指の消毒を、治療以外はマスクを、診療時にはうがい薬を使ったブクブク・ガラガラうがいをお願いいたします。ご協力をお願いいたします。

- 5 治療のご相談は遠慮なくお電話で!

治療や定期検診、メンテナンスなどのご相談やご予約については、お電話(やメール)で承っております。遠慮なくお気軽にお問い合わせください。

患者さんと、安全な診療環境を守るため、歯科医院では徹底した感染対策を行っております。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

